

# うるおい

第9号  
2019年7月

夜空に輝く観覧車



#### サントピアワールド 夏のナイター営業

新潟県の遊園地と言えばこちら！  
夏季は21時までのナイター営業があります。  
ピアガーデンも開催中です。

**ナイター営業日** 7月27日(土)～8月25日(日)の  
土・日・祝、8月14日(水)

**お問い合わせ** 0250-68-3450

## 9号発行に際してのご挨拶

7月となり、今年も暑い夏を迎えました。令和がスタートして、早くも2か月以上が過ぎましたが、皆様方はいかがお過ごしでしょうか。

当院では、一昨年秋からの第1病棟移転新築工事が6月に竣工し、この度全面オープンしました。3年前の第2病棟移転新築工事に始まった一連の院内改修工事も、これで一区切りとなります。

工事期間中は大変ご不便をおかけしましたが、広く快適な環境で療養していただけるものと思います。

また、4月には新潟大学より豊島靖子先生を診療部長として迎え、診療体制の充実を図りました。

新たな体制で、今後もより良い医療を提供できるよう努力して参りますので、従前同様のご支援をお願い申し上げます。

さて、日本神経学会は2017年9月に、標榜診療科名を神経内科から脳神経内科に変更することを決議し、厚生労働省の承認を得て、各医療機関は順次、神経内科から脳神経内科への名称変更を進めています。当院でも6月から診療科名として脳神経内

科を使用することになりました。

神経内科という診療科が始まったのは1975年であり、既に長い歴史がありますが、いまだに心療内科や精神科と混同されることがあり、世間に広く浸透しているとはいえません。

そこで診療内容が広く世間に認知されている脳神経外科にならぬ、脳や神経系の様々な疾患を内科的専門知識と技術をもって診療する診療科として脳神経内科に名称変更するものです。

これにより診療内容が変わるものではなく、当面は神経内科、脳神経内科が世間でも混在するものと思いますが、これを機会に当院の専門性をこれまで以上にご理解いただければ幸いです。

2019年7月



脳神経センター阿賀野病院

院長 近藤 浩

## 新任医師のご紹介

2019年4月1日より  
診療部長として

とよしま やすこ  
**豊島 靖子** 医師

が着任いたしましたので  
ご紹介致します。



4月1日付けで当院へ赴任となりました豊島靖子です。私はとよしま やすこ大学を卒業後、新潟大学の神経内科学教室に入局し、患者さんの診療を行ってまいりました。その後、脳の病気、とくに認知症に関係する神経変性疾患に興味を持ち、脳研究所の病理学分野で研究を中心に20年ほどを過ごしました。病理学は実際に脳の組織に起こっている変化を顕微鏡で観察するのですが、同じ診断の患者さんたちでも一人一人異なる所見を持っていて、神経疾患の奥深さを勉強しました。患者さんの脳に不要なものがたまってゆくことが原因とされる病気が多いのですが、この10年でそのような病気の理解が進み、研究するうえでは実りの多い時代だったと思います。

このたび、脳研究所神経内科学教室の小野寺理先生、当院

近藤浩先生のお誘いをいただき、当院で仕事をさせていただくことになりました。臨床の現場に戻るのには本当に久しぶりですし、患者さんのいろいろな状況に速やかに対処することが必要とされるので、これまでと全く異なる緊張を感じています。しかし、赴任当時病院に入った瞬間からみなさんが温かく接してくださったことがとても印象深く、心強く思っております。

当院まで車で通勤しておりますが、周りの景色が季節とともに変わって美しく、それを観るのが楽しみになっています。私の故郷も自然豊かなところでしたので、山や田んぼの広がる風景をみるとほっとします。当院のリハビリ室の大きな窓がとても好きで、晴れていても雨の時でも通るたびに外に目がゆきます。学生の頃かじった俳句をまた始めて3年くらいになりますが、この美しい景色をもとに良い俳句ができるのではないかと期待しています。

最後になりましたが、今後一生懸命診療に努めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



## 第1病棟



### ▲病室

1人部屋 4室(4床)、2人部屋 6室(12床)、4人部屋 7室(28床)、合計17室(44床)です。

看護師・准看護師・看護補助者が協力して入院患者さんへの看護・ケアに取り組んでいます。気になることやお気づきのことなどありましたら、お気軽にお声がけください。

## 新病棟完成に伴って

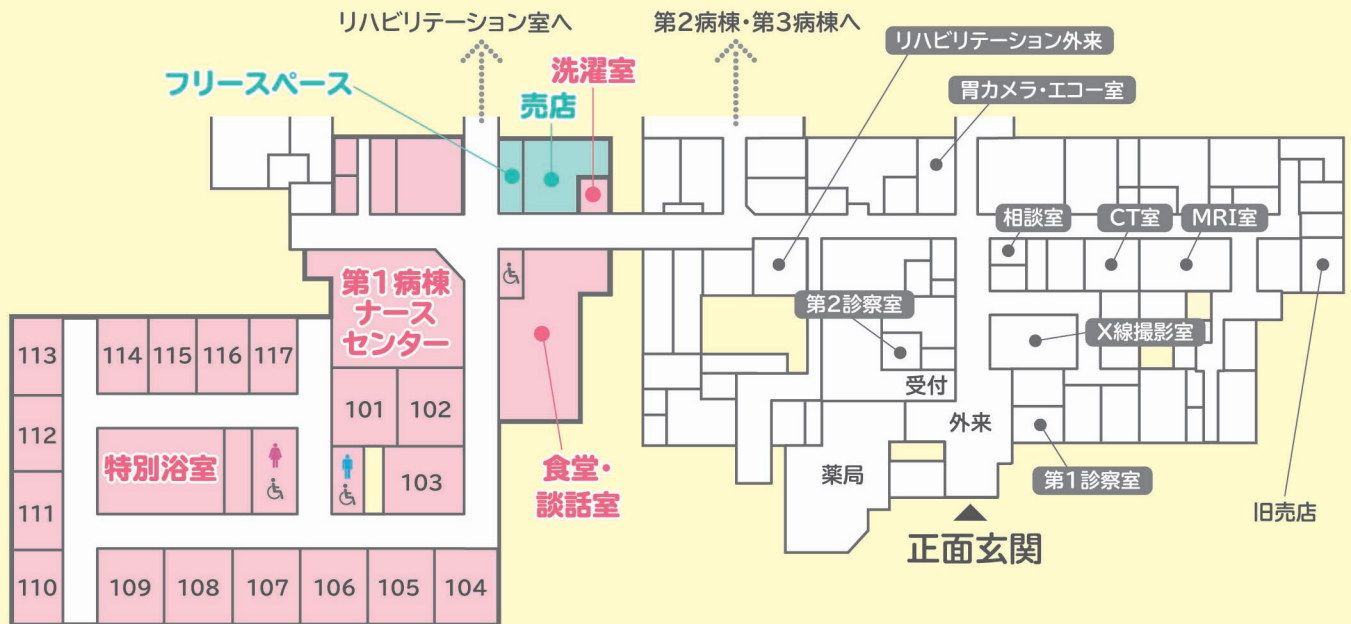
看護部長 兼 第1病棟師長 落合 美恵子

先日、入院患者さんのご家族の方が、「最初、入院した時は“昭和”って感じでしたが、きれいになりましたね」「広くて明るくて喜んでいました」とお話ししてくださいました。また患者さんからは、「とても過ごしやすい」「夜も良く眠れる」「廊下が広くなりましたね」などのお声もいただきました。

働く職員としても、常に新しい事にチャレンジし、新しくなった建物に負けない看護・ケアを提供したいと思っております。

# 第1病棟 工事完了!

第1病棟の工事が完了し、より快適な療養環境が提供できるようになりました。また売店も移転しましたのでご紹介いたします。皆さまには長期間に渡りご協力をいただき、ありがとうございました。



## 売店・フリースペース



### ▲特別室

有料の1人部屋として、テレビや冷蔵庫、洗面台、トイレ、ソファなどの家具が備え付けられています。(110～113号室、約21㎡)



### ▲食堂・談話室

患者さんの食事のほか、ご家族とのコミュニケーションやTVの視聴など、くつろぎのひとときにご利用いただけます。



### ▲特別浴室

座位保持が困難な方には機械浴で、そうでない方には個浴で入浴していただけます。



### ▲洗濯室

硬貨またはテレビカードでご利用いただけるドラム式洗濯乾燥機などがあります。



CT・MRI室前の通路奥から、第1病棟ナースセンター前に移転しました。病棟に近くにご利用しやすくなりました。フリースペースとともに、ちょっとひと息…という時にぜひご利用ください。携帯電話も使用していただけます。

栄養科  
お役立ち  
情報

# 野菜たっぷり! 夏のおすすりレシピ



## ジャージャー麺

材料(4人分)

中華麺	4玉	しいたけ	3枚	酒	大さじ4
ごま油	適量	生姜	ひとかけ	醤油	大さじ2
豚ひき肉	200g	にんにく	ひとかけ	味噌	大さじ3
ねぎ	1本	ごま油	大さじ1	テンメンジャン	大さじ3
たけのこ水煮	小1個	きゅうり	1本	鶏ガラ粉末だし	小さじ2
人参	1/2本	トマト	1個	水	400cc
玉ねぎ	1/4個			コショウ	適量
				水溶き片栗粉	適量

1人分の栄養価 エネルギー/479kcal タンパク質/25.4g 脂質/9.1g  
炭水化物/68.7g 食物繊維/5.5g 食塩相当量/3.5g

所要時間  
約20分

今回は、野菜をたっぷり使ったジャージャー麺を紹介します。ジャージャー麺はもともと中国の家庭料理ですが、岩手県盛岡市では、料理店の店主が戦前に中国東北部(旧満州)で味わった味を元に、麺や味付けをアレンジしたものが「じゃじゃ麺」として広まり、親しまれています。材料のねぎや生姜などには食欲増進の効果があり、豚肉には疲労回復効果のあるビタミンB1が含まれています。ビタミンB1は、ねぎやにんにくなどのアリシンを含む食材と一緒に食べると吸収が良くなります。夏野菜を添えて麺や具も冷やすと、夏バテ気味でもさっぱりと食べられますよ。

作り方

- ① 付け合わせのきゅうりを千切りに、トマトはくし切りにする。ねぎの白い部分で、白髪ねぎを作る。残りのねぎ、たけのこ、人参、たまねぎ、しいたけ、生姜、にんにくをみじん切りにする。
- ② フライパンにごま油をひき、生姜とにんにくを中火で炒める。香りがたったら、ひき肉を加えて強火で炒める。
- ③ ひき肉に火が通ったら、みじん切りにした野菜類を加えて炒める。
- ④ Aを入れて中火で3分ほど煮る。コショウを入れ、味見をして味をととのえたら、水溶き片栗粉を加えて煮立て、とろみをつける。
- ⑤ 鍋に湯を沸かし、麺をゆで、水気を切ったらごま油を入れて和える。
- ⑥ 器に5の麺を盛り、4をかける。1の白髪ねぎ、きゅうり、トマトを添えてできあがり。お好みでラー油を加えてください。

## 外来のご案内 脳神経内科・内科・リハビリテーション科

2019年6月1日より、診療科名が「神経内科」から「脳神経内科」へ変更となりました。

受付時間 午前8時45分～11時30分(休診日 土・日・祝)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1診察室	近藤 浩	横関 明男	青木 賢樹	近藤 浩	佐藤 達哉
第2診察室	(青木 賢樹)	佐藤 達哉	(近藤 浩)	(佐藤 達哉)	青木 賢樹
リハビリテーション外来					工藤 由理

※( )の医師については、急患対応のみとなります。 ※都合により担当医が変更になることがありますので、詳細は受付までおたずねください。 ※なお、新患で受診ご希望の方はあらかじめお電話にてご予約をお願いいたします。受診時間などを相談させていただきます。

## 院内行事レポート

4月  
17日

## お花見会

当院周辺の桜も満開となった頃、「あやめ会」の皆さんが来院してくれました。華やかな踊りに合わせて手拍子を打ったり、楽しいひとときとなりました。



医療法人潤生会 脳神経センター阿賀野病院 広報誌

# うるおい

第9号  
2019年7

■発行日 2019年7月8日  
■発行人 院長 近藤 浩 ■編集 広報誌事務局  
〒959-2221 新潟県阿賀野市保田6317番地15  
脳神経センター阿賀野病院  
電話 0250-68-3500 FAX 0250-68-3690  
URL <http://www.agano.or.jp> メール [info@agano.or.jp](mailto:info@agano.or.jp)

広報誌「うるおい」へのご意見・ご感想は  
広報誌事務局までお寄せください。

## 編集後記

本格的な夏がすぐそこまで来ていますね。今年の暑さはいかほどになるでしょうか。夏におすすりレシピとして、今回は、ジャージャー麺を紹介しています。肉味噌は多めに作って冷凍も可能です。あまりに暑いとコンロの前に立つ時間はできるだけ減らしたいと思ってしまうのですが、そんな時にもこの肉味噌があればいろいろなメニューにアレンジできますのでぜひたっぷりではないでしょうか。エネルギーをしっかりと補給して、この季節を楽しみたいと思います。

さて、今号では先日工事が完了した第1病棟をご紹介しています。病室とナースセンターは昨年すでに完成していましたが、このたび、食堂や旧病棟部分の改築が完了しました。また売店も第1病棟のナースセンター前に移転しています。休憩スペースもありますので、当院にお越しの際はぜひご利用ください。

広報誌事務局